公同礼拝

２０２３年1月２９日(日) 午前１０時３０分

午後３時

司式　牧師　高橋和人

前　　奏

招　　詞　　イザヤ書４３章 18～19a 節

讃　　詠　　５４６

主の祈り

聖　　書

詩　　編　　９９編１～３節　(旧 936)

コリントの信徒への手紙 一

１５章５０～５８節（新 322）

祈　　祷

使徒信条

讃 美 歌　　６（１）

説　　教　「死に対する勝利」 牧師 姜 俓米

祈　　祷

讃 美 歌　　５３３（１）

献　　金

頌　　栄　　５４２

祝　　祷

後　　奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

１月の祈り

新たな年を迎え、主にあって日々新たにされて生きる恵みを覚えることができるように。

新たな思いをもって信仰に歩み出し、祈りの時が増し加えられるように。

戦火が止み、平和がもたらされるように。痛みを負っている人々に慰めといたわりが与えられるように。

教会の新たな世代が御言葉によって育まれるように。

今日の祈り

生きる時の悩み、寂しさ、衰えにあっても日々新たにされる恵みを数え、見えないものに目を注ぐことができるように。

戦火にある人々に、御心による慰めと支えがあたえられるように。平和のために祈り続けることができるように。

寒さ厳しい中にあって、病を負い、弱っている人々が守られ、力づけられるように。

「死に対する勝利」　　姜　俓米

コリントの信徒への手紙一 15：50～58

復活について語ってきた締めくくりが本日の個所です。肉と血、朽ちるものは、神の国、朽ちないものを受け継ぐことができない、私たちは、今のこの体のままで、この人生で、救いの完成を得ることはできないのです。

「神秘」というのは「隠されたこと、秘密」という意味の言葉です。通常隠されていて、信仰によってしか分からない秘密を告げるというのです。今と異なる状態に変えられます。肉と血、朽ちるものであり、だから神の国を受け継ぐことができない私たちが、霊の体へ、朽ちないものへ変えられるのです。そして神の国を受け継ぐ、救いの完成にあずかるのです。

そのことはいつどのようにして起こるのかが 52 節にあります。終わりの日の死者の復活です。世の終わりにキリストがもう一度来られる。その時に、私たちは復活し、朽ちないもの、神の国を受け継ぐ者へ変えられるのです。それが、パウロの告げる、隠された、信仰によってしか分からない秘密です。そして、既に約束されている神様のご意志です。私たちはこの神様のご意志を、信仰によってしか知ることができません。

この復活の希望、神様の恵みによる「死に対する勝利」の希望に生きる時、私たちのこの世の生活は変わります。

肉と血の歩み、朽ちるものであるこの体の歩みは、どんなにすばらしいものであっても、神の国を受け継ぐことはできないのです。それでも私たちが主の業に常に励むのは何故か、それは、主に結ばれているならば自分たちの苦労が決して無駄にならないことを知っているからです。無駄にならない、というのは、滅んでしまわない、朽ちてしまわないということです。

人間の業である人生の働きは、滅んでいくもの、朽ちていくものです。しかし、私たちの人生の苦労の中で、神の国へと、朽ちることのない、死ぬことのない復活の命へとつながっていくことが一つだけあります。

それは、「主に結ばれて」する苦労です。そしてそれは、洗礼を受けて教会の一員になり、主の業に励むことです。神様を信じ、礼拝し、主に仕えて生きることです。